

令和3年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文中学生の部 優秀賞(事務次官賞)

「 学んだ事を生かす 」

三重県 四日市市立西笹川中学校 1年 鳥井 葉奈^{とりい かな}

私はこの夏、土砂災害のニュースをテレビで観ました。そのニュースは、静岡県熱海市で起きた土砂災害でした。テレビで観た光景は土砂が周りを飲み込みながら流れている様子でした。近くにいた消防車や消防隊員の人が危うくその土砂に巻き込まれそうになっている映像も観ました。それを観た私は、とても怖いと思いました。その土砂災害により何人も人が亡くなってしまったり、行方不明になっている事を知りました。突然土砂に襲われてしまった人達のことを思うととても悲しく、どうにか助かる事はできなかったのだろうかと考えました。そして、なぜこのような土砂災害が起きてしまうのかが気になって調べてみることにしました。

まず、ネットで土砂災害について調べました。すると、傾斜が急な山が多い日本は、台風や大雨などが引き金となって、がけ崩れや土石流、地すべりなどによる土砂災害が発生しやすい国土環境であることがわかりました。そして、平均すると1年間におよそ1105件の土砂災害が発生しているそうです。ニュースで観る土砂災害はほんの一部の事なのだと思います。同時に、そんなにも土砂災害が起きているということに驚きました。それほど発生している土砂災害からどのようにして身を守れるのか、事前に災害が起きるのを知る事ができないか調べてみました。

まず、自分が住んでいる地区が土砂災害警戒区域になっていないか、避難をするときにはどこに逃げるのかを知っておく事が大事だということがわかりました。そこで、市町村が作成している土砂災害ハザードマップを利用して確認してみました。

実際自分の住んでいる所をハザードマップで調べてみると、災害区域にはなっていませんでしたが、近くには何ヶ所か特別警戒区域になっている所もありました。

今まで、あまり気にしていなかったけれど、そんな所が近くにあるのを知り、もしかしたら土砂災害が起きて被害にあってしまう人達がいるかもしれないと思うと、不安に感じてしまいます。

次に、雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意する事も大事だという事がわかりました。台風等よって雨が降り続いた後に、非常に激しい雨や猛烈な雨が降ると発生する危険もあり、特に激しい雨でなくても長時間続いた場合また発生する危険もあるのです。

私は、激しい雨が降ったりすれば災害が起きやすいだろうとは思っていましたが、それほどの雨でなくても発生する可能性もあるのだと知る事ができました。

雨の強さや降り方に関係なく、自分達で判断せずに避難情報に気を付けながら早めに安全に避難するようにしなければいけないなと思いました。落ち着いて判断ができるように常日頃から心がけようと思います。

このように自分で調べて備える事で土砂災害から身を守る事ができるようになるんだと思いました。そして、色々調べている中で、国土交通省のホームページの中に砂防という土砂災害について書かれているページがありました。その中に「防災カードゲーム」というものがありました。詳しく見てみると、土砂災害についてカードゲームで遊びながら土砂災害から命を守るための方法を学べるようになっていました。遊びながら楽しく学べるのであれば、小さな子でも身を守る方法やどのような事が起こるのかを知る事もできて、とても良い方法だなと思いました。

例えば、カードを組み合わせると「雨が降っている時やその後に」「小石が落ちてきたら」「がけ崩れの前ぶれだよ」という風に分かりやすい絵と文章で書いてありました。ゲーム式になっていれば、小さい子からお年寄りまでの幅広い年代の人達に楽しみながら知ってもらうことができるのでぜひやってみてほしいと思いました。

私は今回、意識した事のなかった土砂災害について調べてみましたが、今までその恐ろしさはテレビを通してしか観ていませんでした。そして、自分の身に起こる事だとも正直思っていないのでした。でも、この先大人になり自分がどこに住み生活していくのか分かりません。なので、今回調べた事をしっかり頭に入れておこうと思いました。

令和3年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文中学生の部 優秀賞(事務次官賞)

これから、今まで以上の被害がでないようにまずは自分ができる事を考えて行動をし、少しでも被害が増えないようにがんばろうと思いました。